

## 平成25年9月14日（土）の「仏教女性の集い」

今年の夏は例年とは比べものにはならないほどの異常気象で、連日40度近い気温に心身ともに疲弊を上げられていらした方も多かったと思います。夏の疲れが出てまいりますこの時期、気をつけて過ごして行きたいと思います。今月は秋のお彼岸の行事等により第2土曜日に開催されました。

今日の御法話は、法然上人御法語後篇 第22「退縁悪知識」 正如房につかわす御文  
—参加者感想—

正如房とは、後白河法王の第三皇女（式子内親王）の事で有名な歌が百人一首にもあります。

「玉の緒よ 絶えなば絶えね ながらへば 忍ぶることの 弱りもぞする」

病に臥した正如房が思いの丈を述べられた文に対して、

往生をする時（亡くなる時）に、往生出来ない等と悪い教えを偉い人やいろいろな方が言っても感わされてはいけない。悪縁を切って一筋に仏の力に頼んでください。との説明がこの文章に書かれているが、別の文章で懇切丁寧な返信が描かれていると説明をされました。

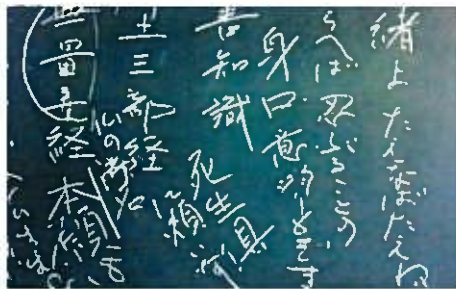
法然上人は、正如房より一度来て頂きお話を聞かせてほしいと言っていますが、今は別時（念仏修行）に入っておりまして、会いに行くことが出来ません。傍に行ってお名残惜しくなるより、お互いいずれはお浄土に行きます。蓮の台で再会しましょう。

どうぞ心安らかになさってください。

と、心のこもった返事されていると・・・

なんともロマンに満ちたお話をして下さいました。

参加者 K. O



近藤先生の力強い文字



礼拝をされる近藤先生

今日のお菓子は月見団子と、お世話をして下さっている江島様お手製のイチジクのスイーツ



座談会は、「浄土宗吉水会のホームページを見ました」と言って初参加された方や何年振りかで、遠く埼玉県からお見えになった方は「旧道場が取り壊されていて大変残念です。階段下で揃って整列した事が懐かしいです」と以前の建物に郷愁を持っておられました。

また、南先生は年を取ると言う事を 80 歳になって、どういう事か分かった。50 歳、60 歳の時に分かっていたら、もっと違う迎え方が出来たかもしれないと非常に意味深い話をされました。法話の中で、近藤先生が言われた『超世の願』についての質問に答えて下さいました。超越する、越えていく事は、上・上へのイメージが強いですが、下へ掘り下げる事も大切ではないか？掘り下げると言う言葉の理解？どう解釈して良いのか少々難しい話でしたが、言葉を越える・・・ 良いとか悪いと言う言葉の成り立ち前に戻る？越える？そうすれば良いも悪いもない。好きも嫌いもない。どっちがどっちもない。差別の無い世の中となり、争い事は起きないでしょう。言葉があるからその言葉に振り回されてしまう。言葉を越えてしまえば言葉に囚われない生活を送っていけるでしょうと、少々難しい話しでしたが、頭だけで無く、肌から毛穴からと身体に浸透していくようで充実した一日を過ごさせて頂きました。



#### 初参加をされました、M. Tさんの感想

我が家は代々、浄土宗を信仰しており、私にとって仏壇の阿弥陀様や仏様に手を合わせる事、浄土宗のお経を聞くことは当たり前のことです。ところが、浄土宗について改めて学んだこともなく、実はよく知らない。それがきっかけで宗務庁のWEBサイトにアクセスしました。そこで知った吉水会は、非常に歴史は古く、一般のものでも浄土宗の教えを通じて様々なことを学べる場であると思いました。私もこの場を通じて浄土宗の知識を深めるとともに、一層実りある人生のヒントを得られればと思っております。

次回の「仏教女性の集い」は10月19日です。

「仏教女性の集い」は毎月第3土曜日、一時～四時

参加費 1,000 円 宗教・宗派は問いません。

条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩 150m

『吉水尼僧庵』（旧尼僧道場）で開催致しております。

「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載致しております。

<http://jodo.or.jp/yoshimizu/tudo.html>

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで